

「SDGs達成に向けた 大学の役割」



2020年1月21日（火）
（一社）SDGs市民社会ネットワーク
理事・事務局長 新田英理子



2030年は、何歳？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



質問 1. 食器を洗う時、 どうやって洗っていますか？



い. 洗剤は使わず、アクリルたわしで

**ろ. 油物は紙や古布でふき
とってから**

**は. ためすすぎで、少量の
植物性洗剤を**

質問 2. お洋服を買う時の ポイントは何ですか？



い. デザイン・色とサイズ

ろ. 素材や風合いとサイズ

は. ブランドとサイズ

あと2問お付き合いください

質問 3 . ご近所のこまりごと。

地域でのこまりごと。

だれが、解決しますか？



い. わたし自身が

る. 行政が

は. 近所の人、地域の人

質問 4. 教育現場の問題・ 課題、だれが、解決します か？





い. 教員が

ろ. 学生が

は. 大学が

0. 自己紹介

- 1970年 富山県高岡市生まれ
- 京都の京都精華大学を卒業後、東京の民間企業で3年半勤務
- その後、1年間環境団体でバイトを行いながらボランティアでNPOにかかわる
- 1998年4月より、特定非営利活動法人日本NPOセンターにて最初の正職員として20年働く
- 2014年8月より、事務局長(2017年3月末で退任)
- 2017年4月より、一般社団法人SDGs市民社会ネットワークと日本NPOセンターを兼務
- 2019年4月より、SDGs市民社会ネットワーク事務局長
専門活動分野
NPO支援全般、企業とNPOの社会貢献活動に関する
コーディネーション、NPO法に関わる非営利法人制度等

(一社)SDGs市民社会ネットワーク

SDGsの達成をめざして行動するNGO/NPO
など市民社会組織が中心となって設立

＜目的＞「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に則り、全ての人々が、貧困がもたらす生命や生活の危機及び社会的排除から解放され、人間として尊厳をもっていきることのできる、経済（E）・社会（S）・環境（E）の三側面が統合された持続可能な世界の実現に寄与すること。

- ＜事業＞
- （１）SDGs達成のための政策提言
 - （２）SDGsの広報・普及啓発
 - （３）市民社会と民間企業、政府、研究機関、国際機関などとの連携の強化や問題解決策の提示
 - （４）SDGs達成のための調査・研究など

＜沿革＞ **2013年：ポスト2015NGOプラットフォームとして設立**
2016年4月に任意団体として組織再編
2017年2月27日に一般社団法人化

13の事業ユニットと理事会

SDGs(17目標、169ターゲット、230余指標)

貧困・格差

持続可能な経済

環境

平和・ガバナンス

協力・連携

提言
行動

啓発
普及

連携
協力

調査
研究

提案
助言

ガバナンス:理事会
(代表理事・専務理事・理事)

社員総会

NPO/NGO会員

一般正会員

ネットワーク正会員

フレンズ会員

サポーター会員

連帯・協力会員

スポンサー会員
(民間企業等)

アソシエイト会員
(協同組合、労組、
宗教団体、学界等)

事務局

事業ユニット制度

開発

保健、教育、開発資金
etc.

環境

気候変動、生物多様
性、etc.

国内貧困・格差

地域・地方創生

社会的責任 etc.

(一社)SDGs市民社会ネットワーク

SDGsジャパン 組織体制

代表理事	大橋正明	聖心女子大学/聖心女子大学グローバル共生研究所
	三輪敦子	(一社) アジア・太平洋人権情報センター
業務執行 理事	今田克司	(一財) CSOネットワーク
	星野智子	(一社) 環境パートナーシップ会議
	長島美紀	(特活) Malaria No More Japan
理事	大谷美紀子	弁護士 (大谷&パートナーズ法律事務所)
	石原達也	(特活) 岡山NPOセンター
	大久保勝仁	Japan Youth Platform for Sustainability
	中西由起子	(認定NPO法人) ディーピーアイ日本会議
	新田英理子	(一社) SDGs市民社会ネットワーク事務局長
監事	二村睦子	日本生活協同組合連合会
	浅見 哲	税理士、税理士法人魁
	田中徹二	グローバル連帯税フォーラム

なぜ？今

イス・ディー・ジーズ

S D G S

Sustainable Development Goals

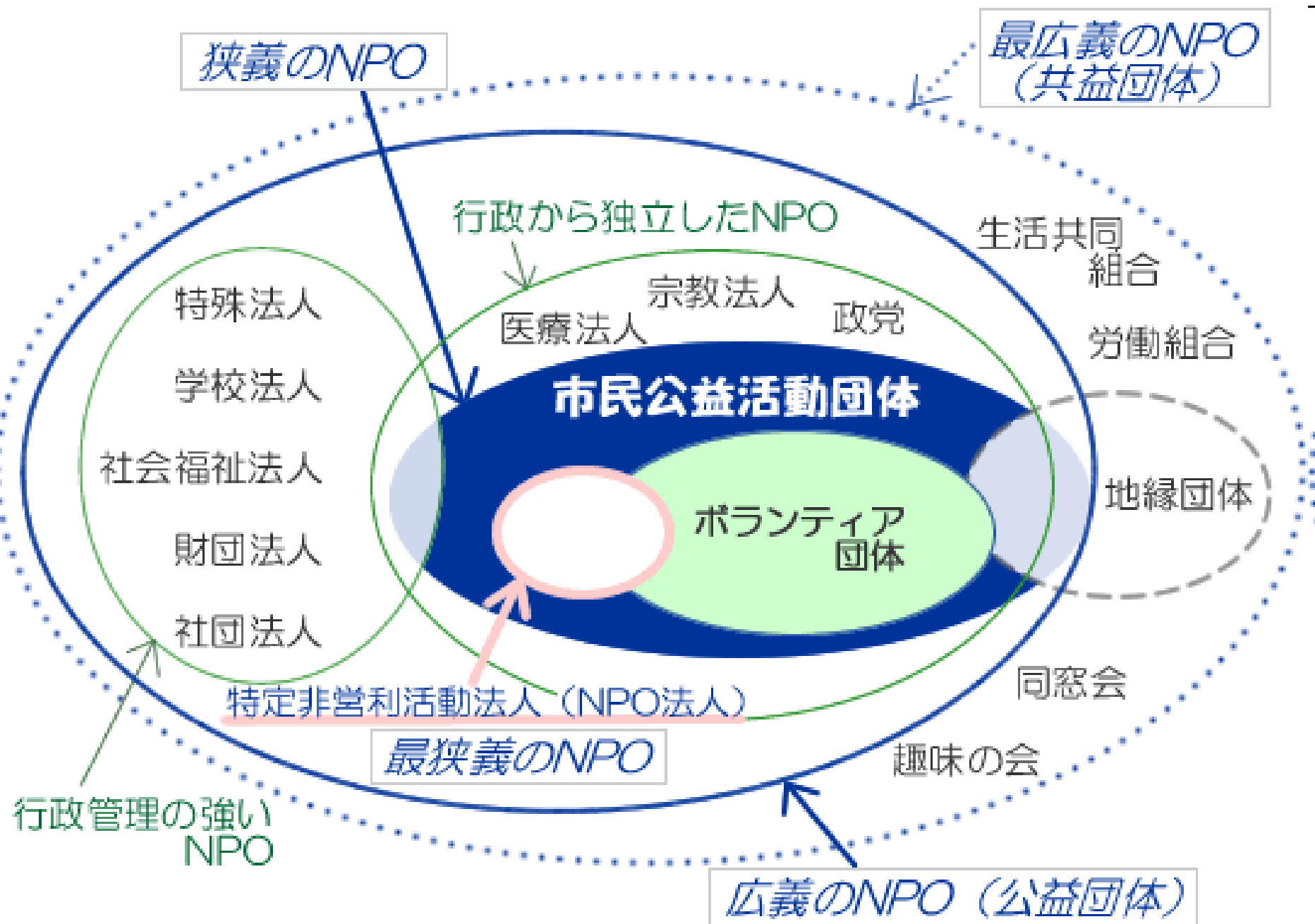
(持続可能 開発 目標)

成長？

発展？

社会を行政・企業・NPOの側面から 見ると？

セクター	第1セクター	第2セクター	第3セクター
主体	行政	企業	NPO
組織理念	社会的合意	最大利益	共感
行動原理	手続き	競争	参加・協力
特性	画一性・公平性	対価性	先駆性・多様性 個別性・提言性
活動範囲	全体的	選択的	部分的



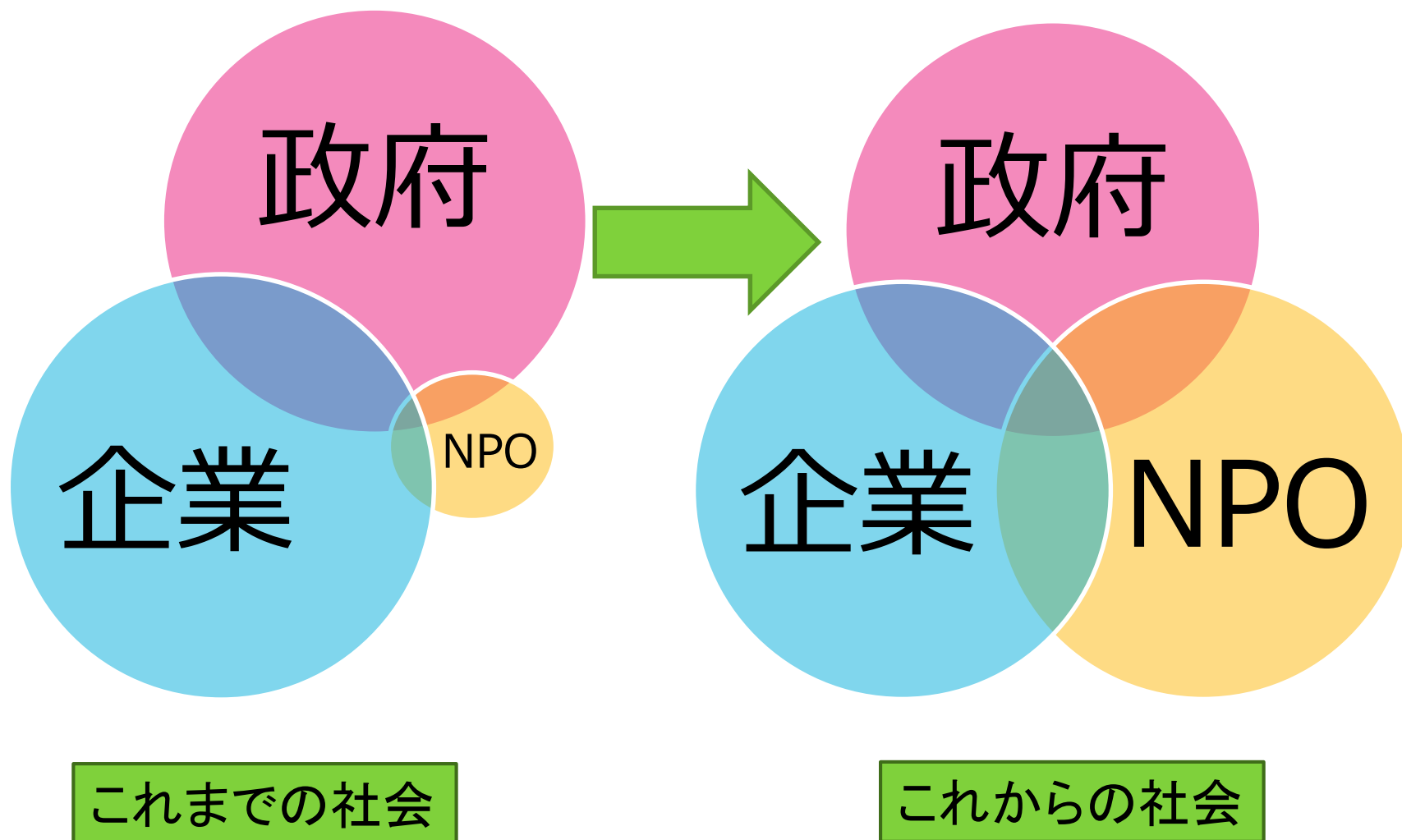
NPOの特徴

自発性（自主性）	自発的発意により行動する
個別性	個々のニーズによりそった対応
多様性	多様な価値の需要と供給（誰でも参加）
選択性	自由に選べる（好きや得意が選べる）
機動性	組織的に身軽（身軽に動ける）
先駆性	新しい行動を展開（アイデアで勝負）
変革性	社会への提言・提案

ボランティア活動、4つの原則

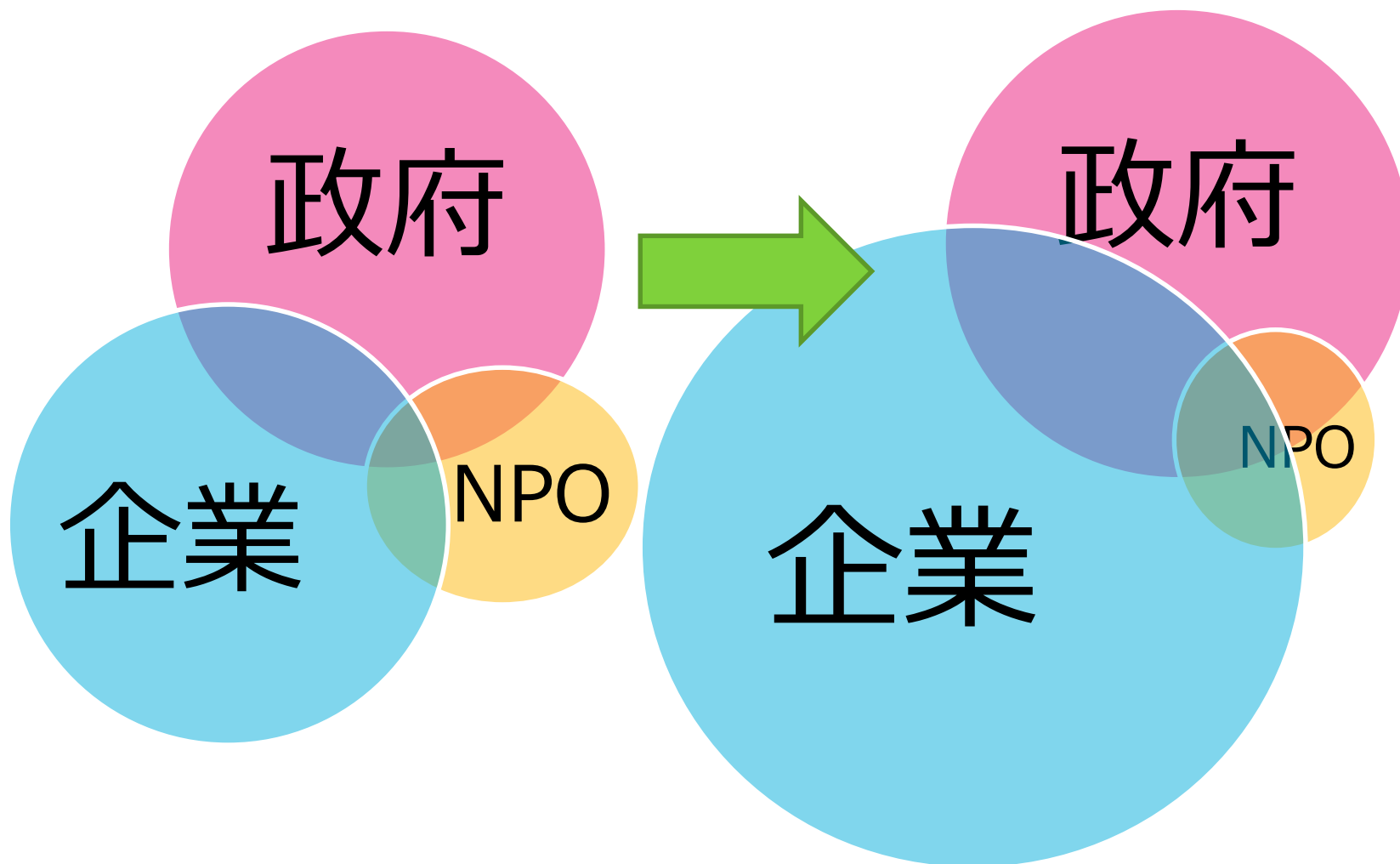
自発性・主体性	自分から進んで行動する
社会性・連帯性	ともに支え合い、学び合う
無償性・無給性	見返りを求めない
創造性・開拓性 ・先駆性	よりよい社会を創る

1990年代にされていた議論





最近顕著な状況？！



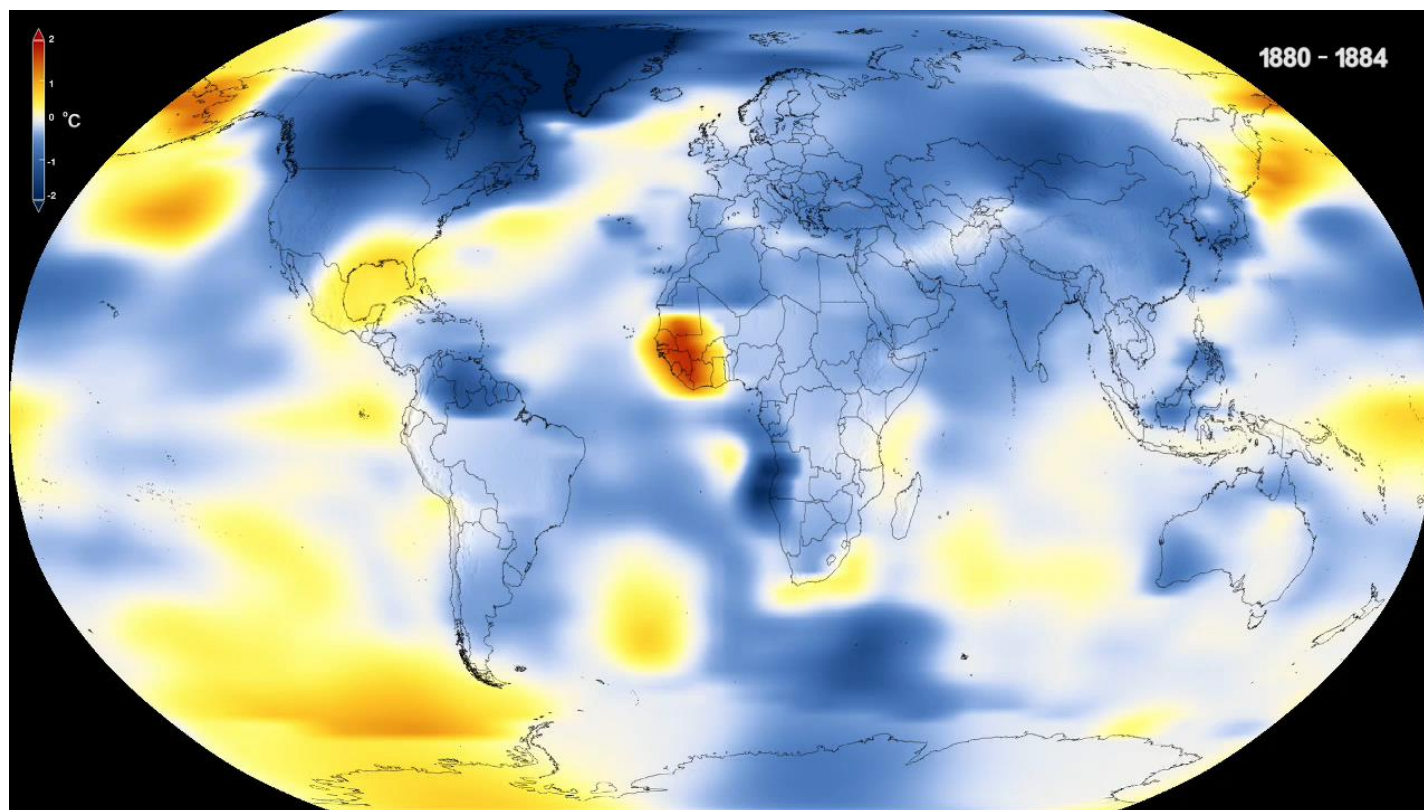
このままでは 日本・世界・地球は 持続不能？





JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs

地球規模での温暖化 (1880-2017 4年毎との平均との比較)

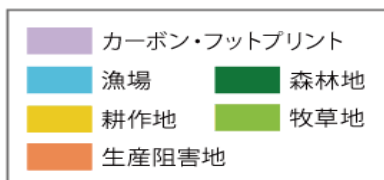
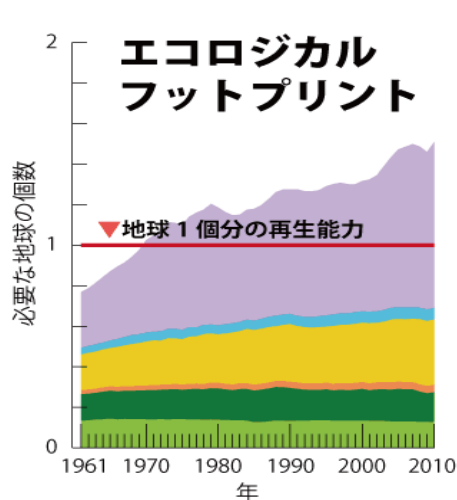


「2100年 未来の天気予報」 夏の東京43.3度、2月から熱中症に

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/2100weather/>



私たちの住む世界: このままだと持続不可能



野生生物の
減少



気候危機



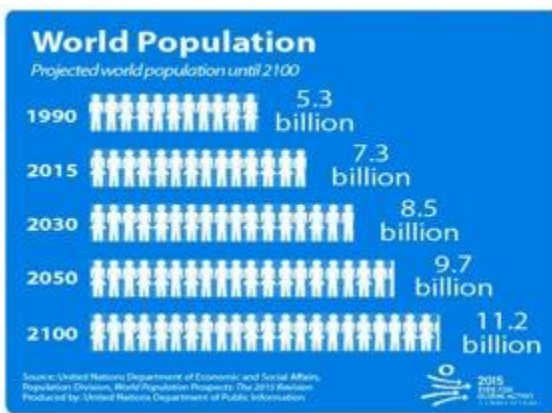
<出典> ユニセフ「Child Poverty in Rich Countries 2005」および「図表でみる世界の社会問題 OECD社会政策指標」(特許権)
データ制作: 特定非営利活動法人 3keys

6人に1人子どもが
貧困状態: 日本

「地球の限界」を超えた
生産・消費活動

出所:

- 「生きている地球レポート2016」(要約版)WWF
- 特活 3 Keys
- UNDESA
- 写真: 国際連合広報局



2100年に人口**112億人**?
一方日本は人口減少が...



頻発する自然災害

私たちの住む世界: このままだと持続不可能

世界の難民避難民は
過去最高の**6560万人**
(2017年 難民高等弁務官事務所)



飢餓人口再上昇
2015年の7億7700万人→2016
年に**8億1500万人**
(2017年食糧農業機関他)

課題間のつながり



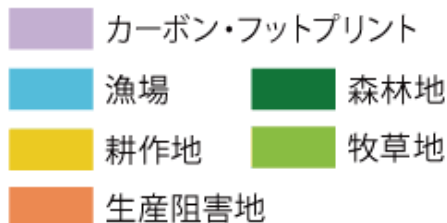
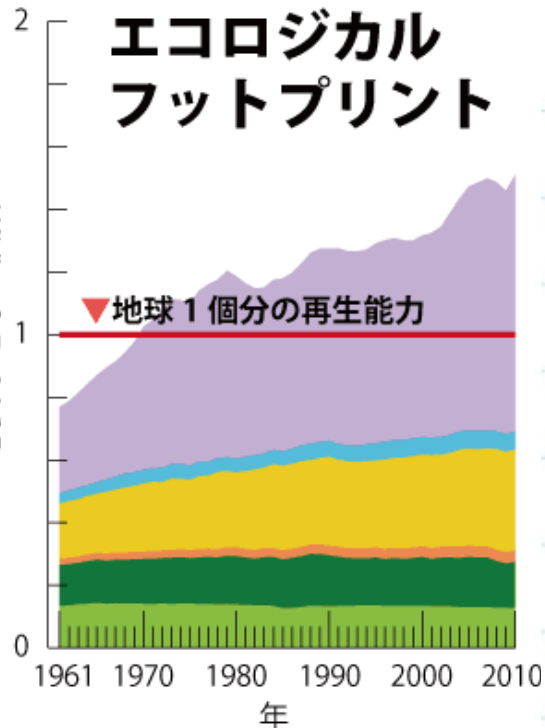
世界の食料生産量の3分の1
にあたる**約13億トン**の食料
が毎年、廃棄されている

私たちは次世代に地球を引き継げるのか？

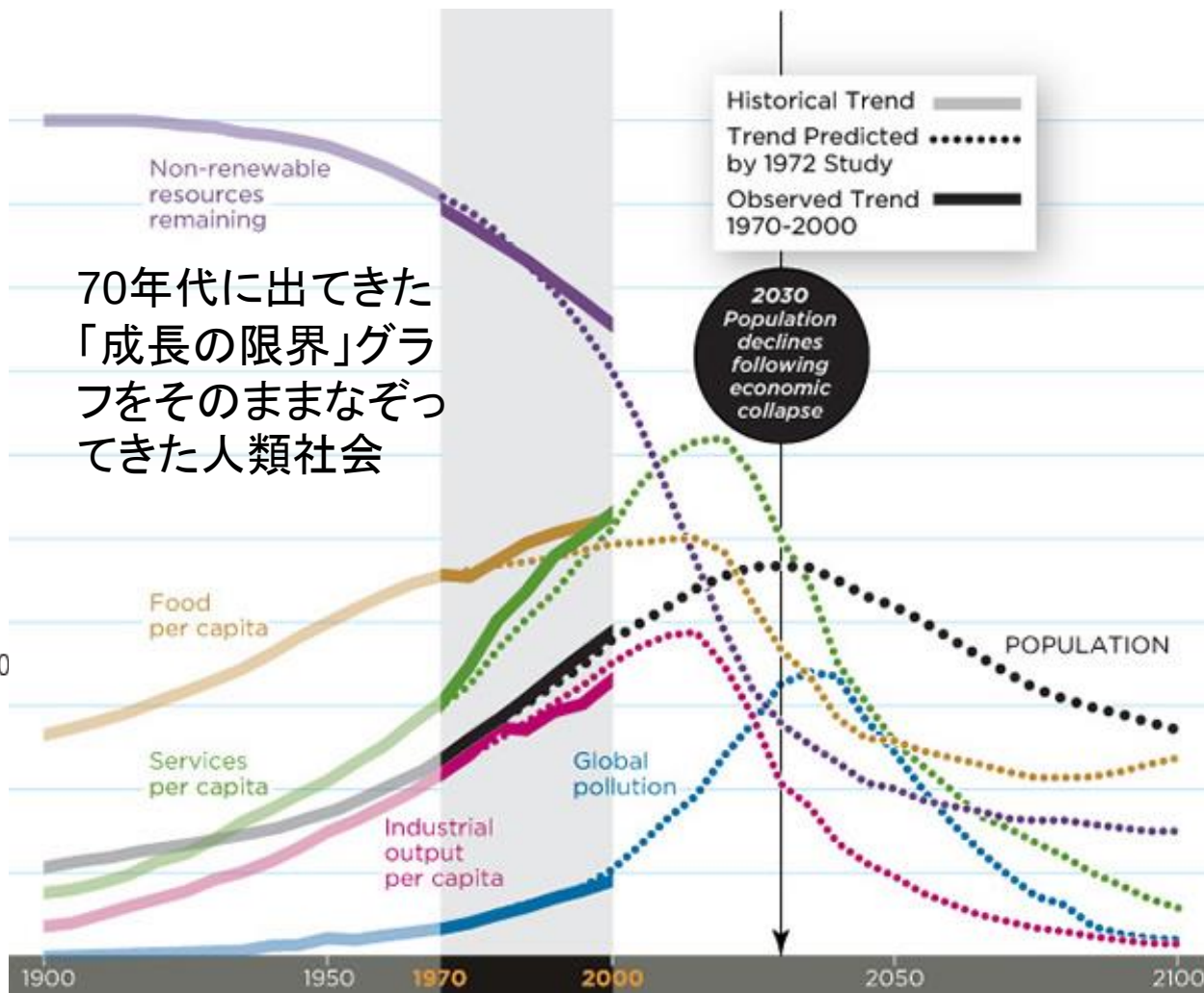
地球が再生可能な資源量の1.5倍を使う人類：終わりはいつ来る？

エコロジカル フットプリント

▼地球1個分の再生能力



70年代に出てきた
「成長の限界」グラ
フをそのままぞっ
てきた人類社会



「つづかない日本」 SDGsは「日本の課題」

人口の大変化＝地域存続の危機

「つづかない」日本 最大の課題

- 集落、地域の存続の危機
- **社会保障制度の危機**
- 社会、文化それ自体が危機に

格差と貧困

「相対的貧困」と格差の深刻化

- OECD36か国中、相対的貧困率が29位(2017年)

私たちが日々向き合っている**持続不能**の現実

大量生産と消費

「年間の食料廃棄量1800万トン」

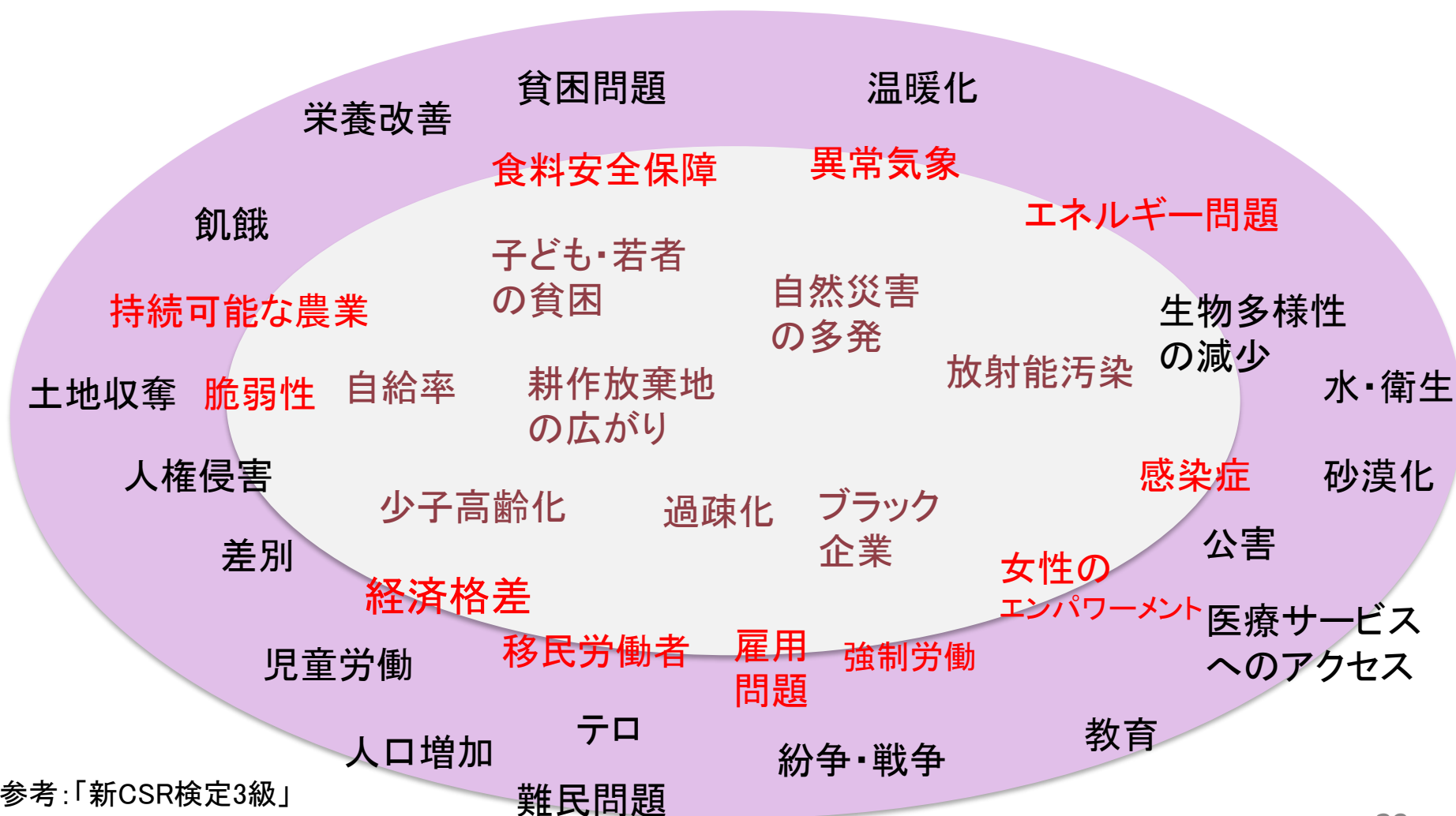
- うなぎ、まぐろなどの水産資源の枯渇＝日本にも大きな責任
- **地球が再生産できる資源量の1.5倍を使う＝日本を含む先進国に大きな責任**

気候変動と災害

防災への巨大な投資にもかかわらず

- 先進国の中で、災害による死者・損害が最も多い国
- **気候変動で災害が激甚化⇒少子高齢化とコミュニティ崩壊で被害拡大**

地球規模課題と国内課題の重なり





THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development

我々の世界を**変革する**:

持続可能な開発のための 2030 アジェンダ

Transforming our world:the 2030 Agenda
for **Sustainable** Development

- 貧困のない、**持続可能な**世界を次世代に受け継いでいくことを目指した世界規模の目標
- 2015年9月25日、世界193か国が国連総会にて採択
- 2016-2030までに達成する国際目標
- 多様な主体の参加により、オープンなプロセスを経て作成
- 17ゴール・169ターゲットを踏まえつつ、各国政府が国家目標を定め、国家戦略等に反映していくことを想定
- 指標を開発し、成果をはかる
- 民間セクターの役割、責任に言及
- 中心は**持続可能な開発目標(SDGs)**



JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs
SDGs 市民社会ネットワーク



THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development

SDGs = 本名は「我々の世界
を変革する：持続可能な開発
のための2030アジェンダ」

SDGsは、17ゴールのも
とに169のターゲット、
230の指標がある。

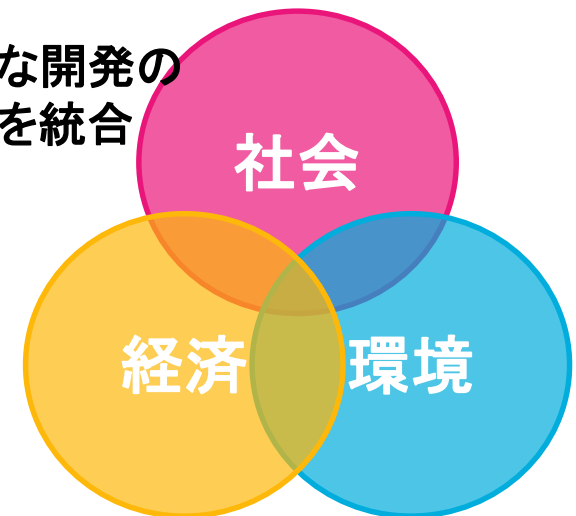
目標(ゴール)

ターゲット(数字) +
実施手段(a,b,...)

指標

前文	宣言	SDGs	実施 手段	フォ ロー アップ &レ ビュー
前文 と 5Pの 説明	第1節 ～ 59節		60節 ～ 73節	74節 ～ 91節

持続可能な開発の
三側面を統合



ゴール＝目標

**ターゲット＝各目標を細分化した
目標**

**指標＝ターゲットの進捗状況を
測るための数値目標**



JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs
SDGs 市民社会ネットワーク

90年以降の地球規模課題に関する年表

- 1992年 国連環境開発会議：地球サミット（ブラジル）
→ ('93)環境基本法制定へ
- 1994年 世界人口会議（エジプト）
- 1995年 世界女性会議（中国）
→ ('95)阪神淡路大震災
ボランティア元年
- 1996年 国連人間居住会議（トルコ）
- 1997年 **気候変動COP3（地球温暖化防止会議）（京都）**
- 1999年 男女共同参画社会基本法施行
→ ('98) 通称NPO法施行
- 2000年 世界教育フォーラム（セネガル）
→ ('99)介護保険法
地方分権一括法
- 2000年 国連ミレニアムサミット、沖縄・九州サミット **(MDGs)**
- 2002年 ヨハネスブルグ・サミット（南アフリカ）
- 2002年 世界エイズ・結核・マラリア対策基金 創設
- 2002年 世界エイズ・結核・マラリア対策基金 創設
- 2004年 **持続可能な開発のための教育の10年 決議（ESD）**
→ ('03) CSR元年
- 2006年 障害者権利条約
→ ('08)リーマンショック
- 2010年 生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）開催（名古屋）
- 2011年 **国連生物多様性の10年 スタート 国際森林年**
→ ('11)東日本大震災
NPOへの関心増
- 2012年 国連持続可能な開発会議（Rio+20）（ブラジル）
- 2014年 **ESD**に関するユネスコ世界会議（名古屋）
- 2015年 **SDGs採択（2016年～2030年）**
→ ('16)SDGs推進本部設置
- 2016年 伊勢志摩サミット（三重）

SDGsの重要な5要素（5P）と17目標



SDGs実施のための主要原則

1. 普遍性	すべての国に適用
2. 包摂性	だれひとり置き去りにしない(LNOB)
3. 参画性	あらゆるステークホルダーや当事者の参画を重視
4. 統合性	統合され不可分。経済・社会・環境
5. 透明性と説明責任	定期的に評価、公表し、説明責任を果たす

17目標の構造は？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

MDGs から継承の目標

経済視点の目標

環境の目標

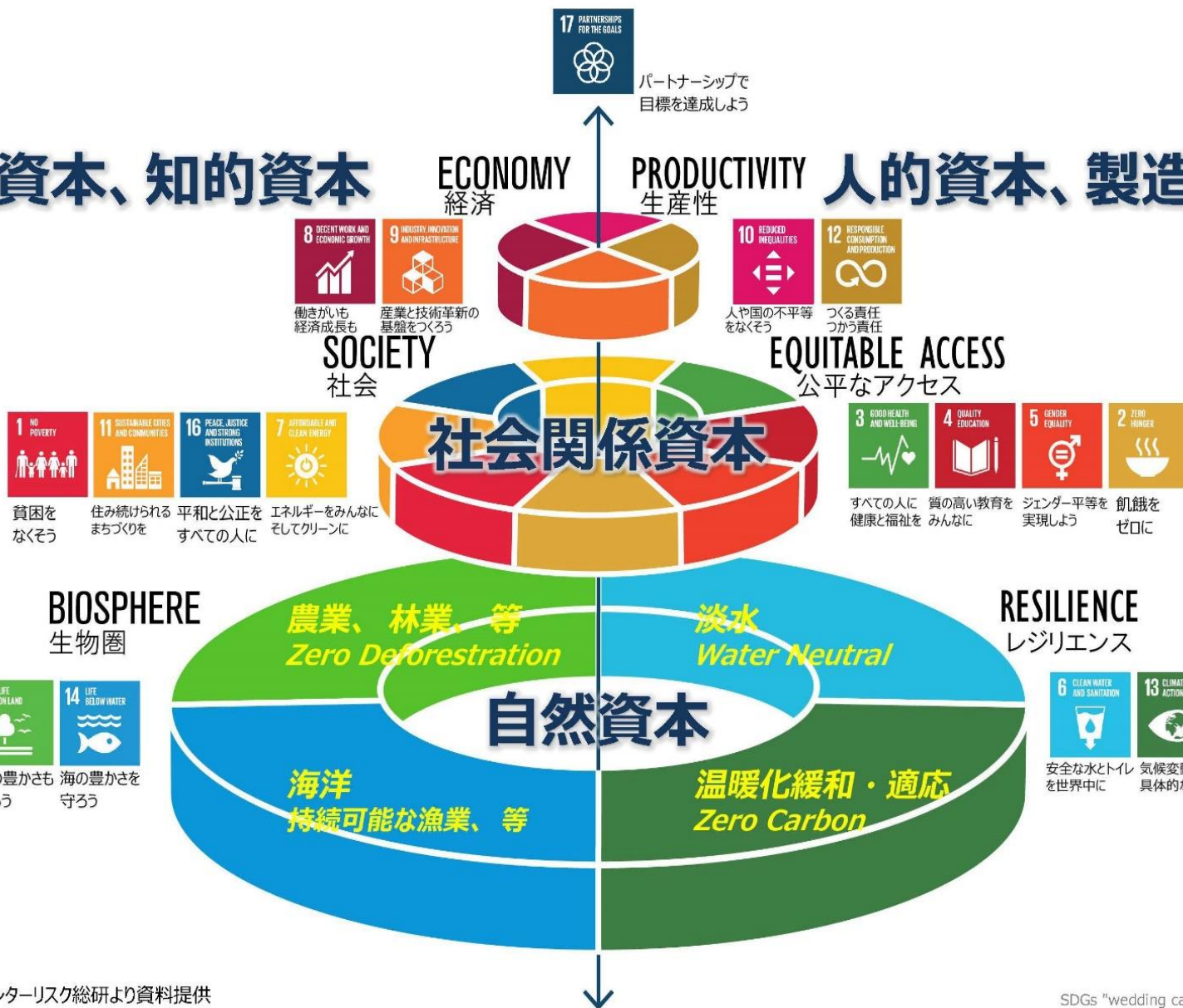
目標を達成するための目標

財務資本、知的資本

ECONOMY
経済

PRODUCTIVITY
生産性

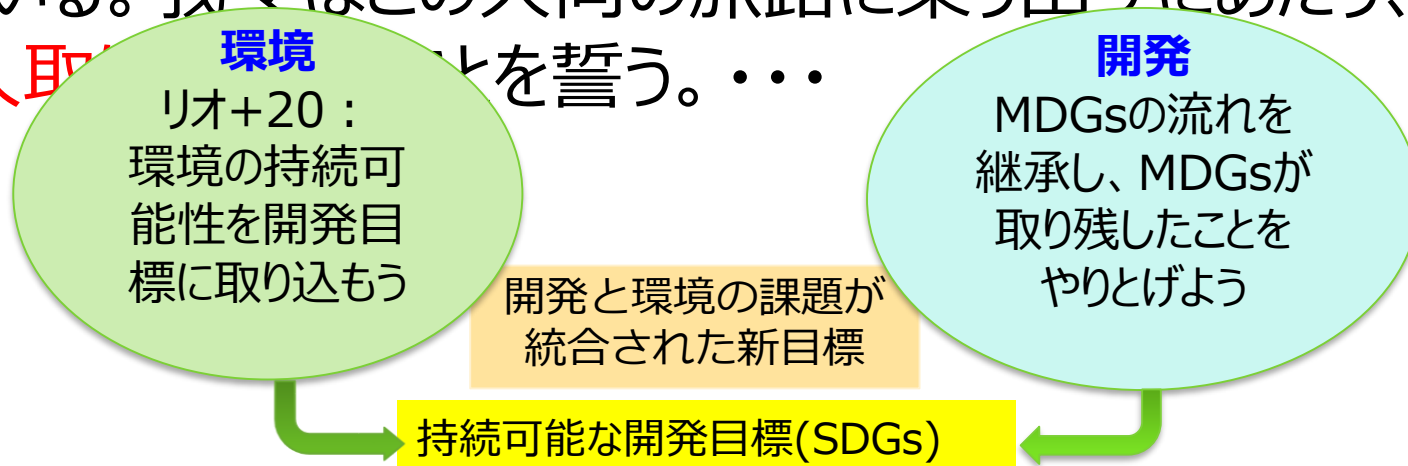
人的資本、製造資本



※出典…(株)インターリスク総研より資料提供

SDGs "wedding cake" illustration presented by
Johan Rockström and Pavan Sukhdev
Graphics by Jerker Lokrantz/Azote

……すべての国及び**すべてのステークホルダー**は、協働的な**パートナーシップ**の下、この計画を実行する。我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にすることを**決意**している。我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、**大胆かつ変革的**な手段をとることに**決意**している。我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さず**を誓う。……





JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs
SDGs 市民社会ネットワーク

SDGsの精神 誰ひとり取り残さない

この偉大な共同の旅に出発するにあたり、私たちは、**誰ひとり取り残されることはない**ことを誓う。私たちは、人間の尊厳にこそ基本的な価値があることを認識し、全ての目標とターゲットが、すべての国、人々、そして社会のあらゆる要素において実現することを願う。私たちは、**最も遠くに取り残されている人々にこそ、第一に手が届くよう、最大限の努力を行う。**

(持続可能な開発のための2030アジェンダ 「宣言」 第4段落)

**世界193カ国
の首脳が集
まって承認！**

持続可能性って？

1987年に開催された「環境と開発に関する世界委員会」という会議の報告書で、「サステナブル・デベロップメント(持続可能な開発)」という文言が使われたことをきっかけに、環境に関する用語として広く普及した

サステナビリティの定義

「持続可能な開発とは、次世代の人々のニーズを損なうことなく、現在のニーズを満たすこと。」(環境と開発に関する世界委員会)

2004年10月 - 第59回国連総会にユネスコの「国連持続可能な開発のための教育の10年実施計画」最終案が提示される。

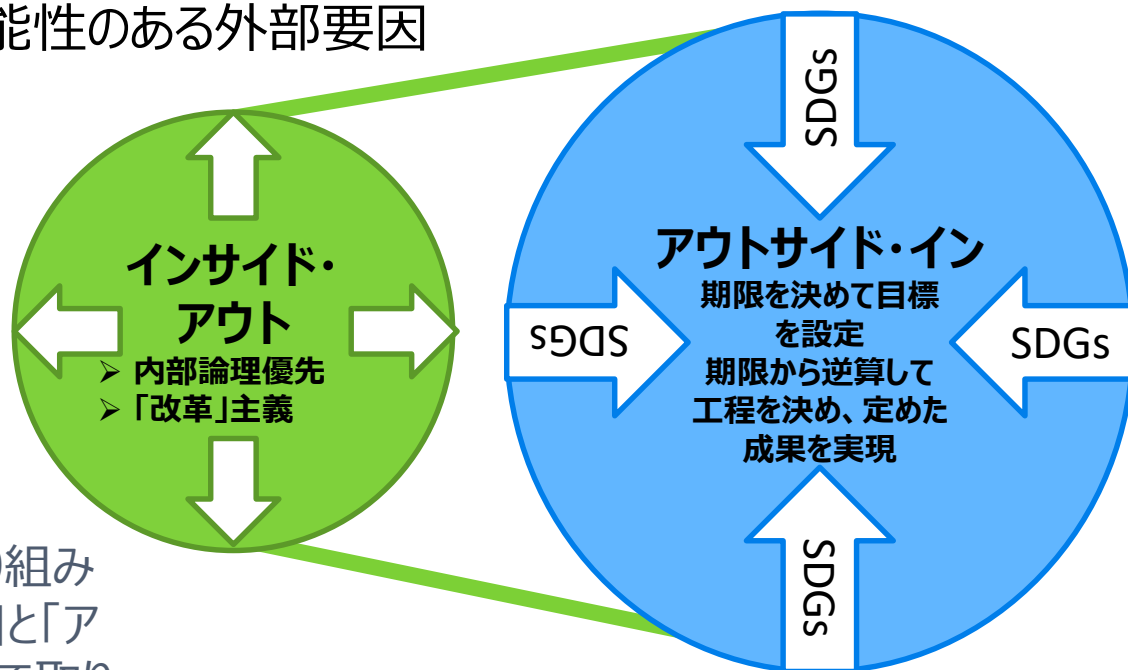
2005年からESD＝「持続可能な開発のための教育(Education for Sustainable Development)」の10年がはじまった。

地域課題の解決にSDGsをどう活用？

今、直面している問題に加えて 将来の問題も見通して取り組みを作る

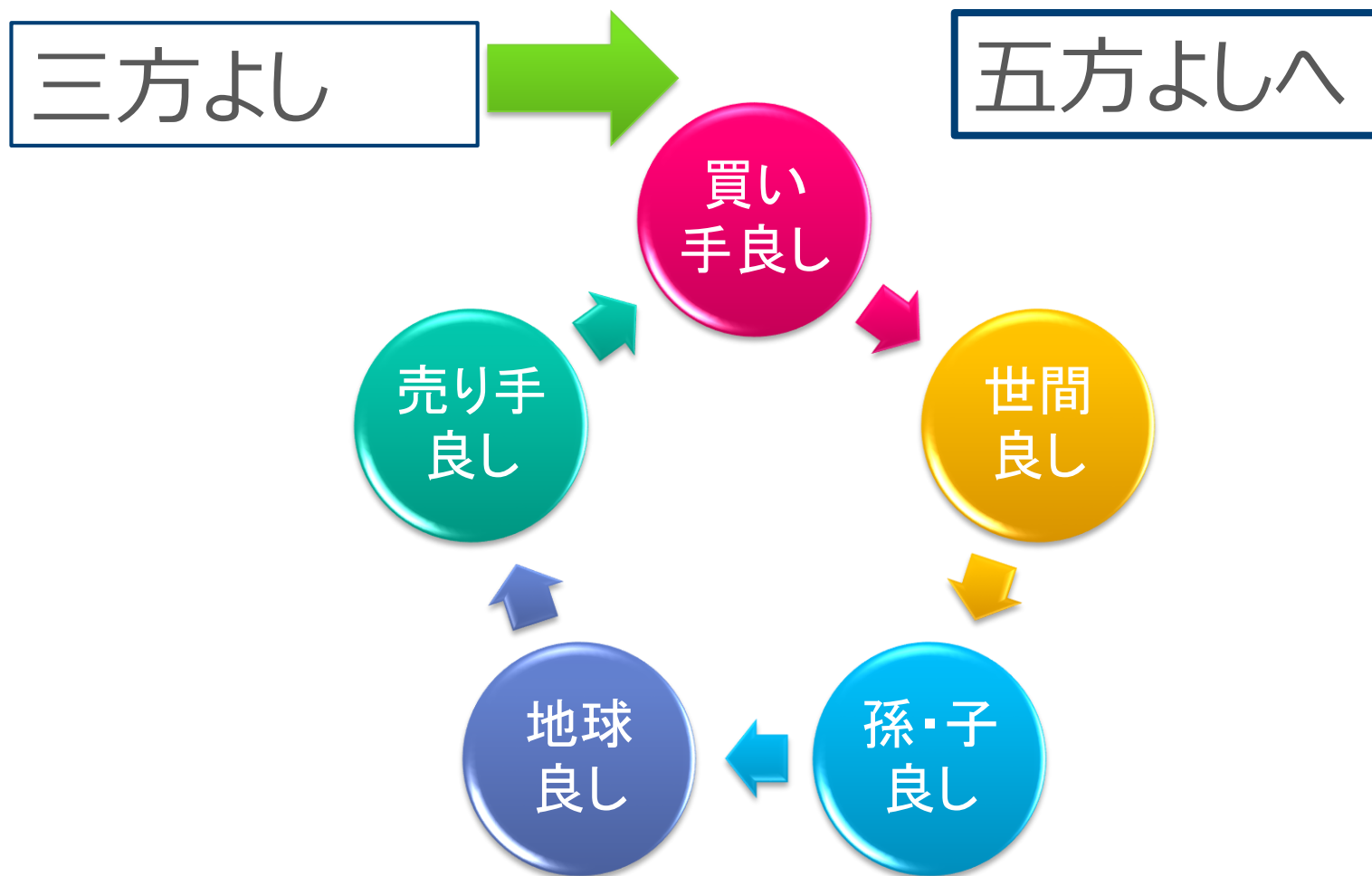
SDGsを使ってできること

- (1) 今、直接は直面していない問題
- (2) 今は深刻でないが、将来深刻になる問題
- (3) 問題を変えてしまう可能性のある外部要因



- ◆ 期限と目標を定め、逆算して取り組みを決めていく＝「インサイド・アウト」と「アウトサイド・イン」のコンビネーションで取り組みを進める

価値基準が大きく変化





全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を保障し、生涯学習の機会を促進する。

4.1	2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ有効な学習成果をもたらす、自由かつ公平で質の高い初等教育および中等教育を修了できるようにする。
4.2	2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い早期幼児の開発、ケア、および就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。
4.3	2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、安価で質の高い技術教育、職業教育、および大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
4.4	2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・ワークおよび起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
4.5	2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民および脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。
4.6	2030年までに、すべての若者および成人の大多数(男女ともに)が、読み書き能力および基本的計算能力を身に付けられるようにする。

全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を保障し、生涯学習の機会を促進する。

- 4.7 2030年までに、持続可能な開発と持続可能なライフスタイル、人権、ジェンダー平等、平和と非暴力の文化、グローバル市民、および文化的多様性と文化が持続可能な開発にもたらす貢献の理解などの教育を通じて、すべての学習者が持続可能な開発を推進するための知識とスキルを獲得するようにする。
- 4.a 子ども、障害、およびジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、すべての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。
- 4.b 2020年までに、開発途上国、特に後発開発途上国および小島嶼開発途上国、ならびにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術(ICT)、技術・工学・科学プログラムなど、先進国およびその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。
- 4.c 2030年までに、開発途上国、特に後発開発途上国および小島嶼開発途上国における教員養成のための国際協力などを通じて、資格を持つ教員の数を大幅に増加させる。

SDGsの17の目標とESDの関係図



出典：日進市(ESD推進基本方針)



JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs
SDGs 市民社会ネットワーク

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等を達成し、全ての女性
及び女の子のエンパワメントを行う。

5.1	差別撤廃	あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
5.2	暴力排除	人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性および女子に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。
5.3	有害慣行撤廃	未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚、および女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。
5.4	ケア・家事労働 の評価	公共のサービス、インフラ、および社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
5.5	政治・経済・公共 分野への参加	政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において完全かつ効果的な女性の参加および平等なリーダーシップの機会を確保する。
5.6	SRHR	国際人口開発会議(ICPD)の行動計画および北京行動綱領、ならびにこれらの検討会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康および権利への普遍的アクセスを確保する。
5.a	所有権	女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ、および土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。
5.b	ICTなど技術活用	女性のエンパワメント促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
5.c	平等促進	ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性および女子のあらゆるレベルでのエンパワメントのための適正な政策および拘束力のある法規を導入・強化する。

SDGsの読み方（目標5より）

指標（仮訳）

5.1.1 性別に基づく平等と差別撤廃を促進、実施及びモニターするための法律の枠組みが制定されているかどうか

5.2.1 これまでにパートナーを得た15歳以上の女性や少女のうち、過去12か月以内に、現在、または以前の親密なパートナーから身体的、性的、精神的暴力を受けた者の割合（暴力の形態、年齢別）

5.2.2 過去12か月以内に、親密なパートナー以外の人から性的暴力を受けた15歳以上の女性や少女の割合（年齢、発生場所別）

5.3.1 15歳未満、18歳未満で結婚又はパートナーを得た20～24歳の女性の割合

5.3.2 女性性器切除を受けた15-49歳の少女や女性の割合（年齢別）

5.4.1 無償の家事・ケア労働に費やす時間の割合（性別、年齢、場所別）

5.5.1 国会及び地方議会において女性が占める議席の割合

5.5.2 管理職に占める女性の割合

5.6.1 性的関係、避妊、リプロダクティブ・ヘルスケアについて、自分で意思決定を行うことのできる15歳～49歳の女性の割合

5.6.2 15歳以上の女性及び男性に対し、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスケア、情報、教育を保障する法律や規定を有する国の数

5.a.1 (a)農地への所有権又は保障された権利を有する総農業人口の割合（性別ごと）

(b)農地所有者又は権利者における女性の割合（所有条件別）

5.a.2 土地所有及び/又は管理に関する女性の平等な権利を保障している法的枠組（慣習法を含む）を有する国の割合

5.b.1 携帯電話を所有する個人の割合（性別ごと）

5.c.1 ジェンダー平等及び女性のエンパワーメントのための公的資金を監視、配分するシステムを有する国の割合

SDGsの読み方（目標5より）

日本のジェンダーギャップ指数 （世界経済フォーラム）

経済参画

115位（153力国中）

教育

91位（153力国中）

健康

40位（153力国中）

政治

144位（153力国中）

総合

121位

包括的に
ジェンダー平等を
構想

ジェンダー問
題への取り
組みには、強
力な政治的
な意思が重
要



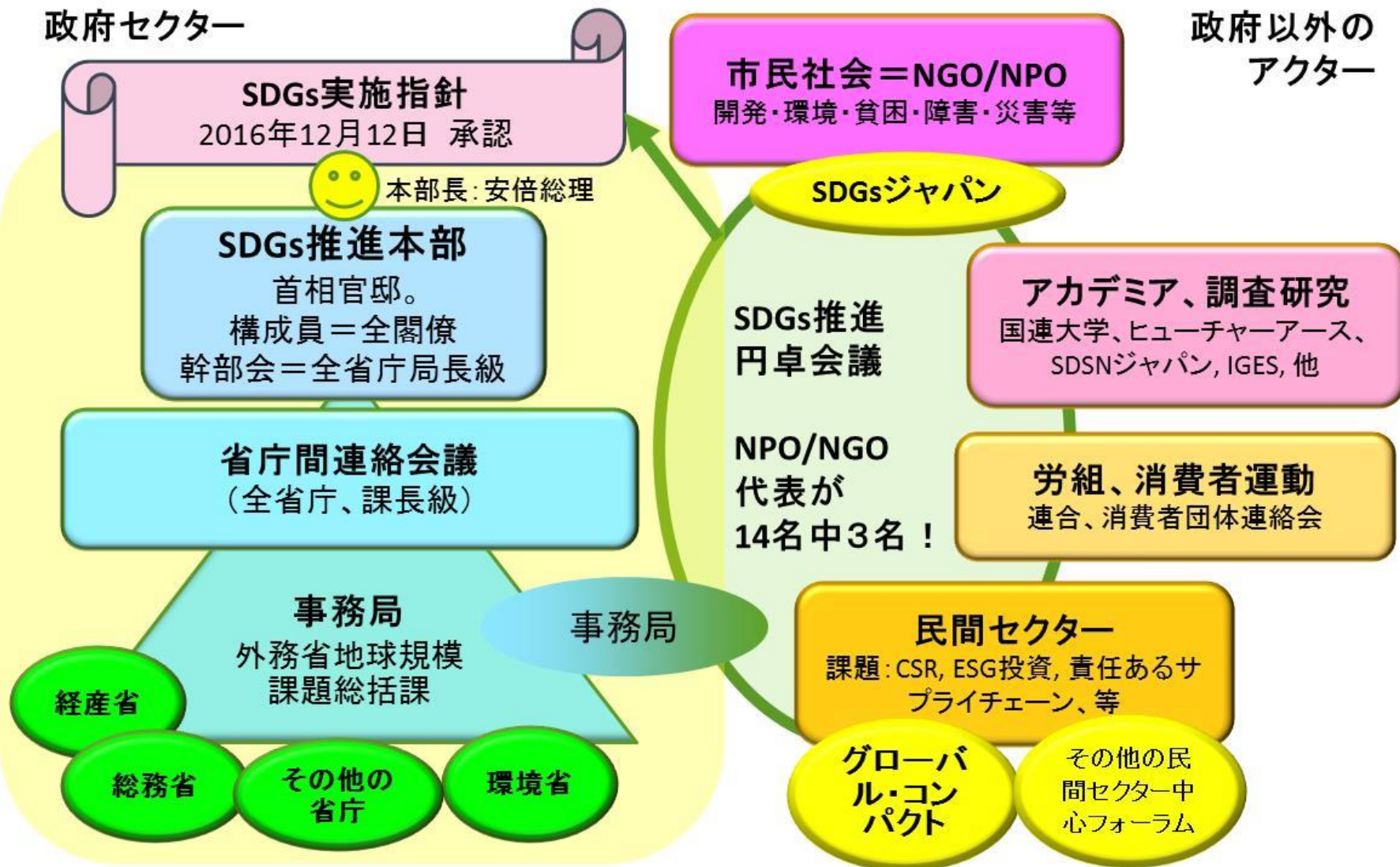
JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs
SDGs 市民社会ネットワーク

政府セクターの取り組み

日本政府の取り組み体制

政府セクター

政府以外の アクター



改定された、日本のSDGs実施指針 (2019年12月改定) ⇒ 貧困・格差には迫れず

問題意識: 2019年のSDGsサミットでSDGs達成困難と出ている。危機意識を持って実践。

現状認識: 多くの取り組みをしているが、ジェンダーや格差等十分でないとの評価がある。

ビジョン: (1)世界のロールモデルとなり、2030年に国内外でSDGs達成を目指す。(2)だれ一人取り残さない2030年の社会を目指す。(3)ソサエティ5.0推進、気候変動・生物多様性の取り組み強化

優先課題	1. あらゆる人々が活躍する社会・ ジェンダー平等推進	5. 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
	2. 健康・長寿の達成	6. 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
	3. 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	7. 平和と安全・安心社会の実現
	4. 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	8. SDGs実施推進の体制と手段

**政府SDGs
アクション
プラン**

・政府の政策を3本柱、8分野に分類

実施原則

普遍性

包摂性

参画型

統合性

透明性と説明責任

政府の体制	推進本部。円卓会議を積極的に活用。
主流化	政府の各種戦略にSDGsを最大限反映
連携	11のセクターに言及(労働組合は明記)
広報啓発	SDGs実施を国民的な運動に。

フォローアップ&レビュー
政府として進捗を評価し、政策に反映する。
国連の自発的国家レビュー(VNR)を実施。
指針見直し: 2023年

SDGs達成度国別ランキング

SDGインデックス&ダッシュボードレポート

1位	デンマーク	11位	ニュージーランド	21位	スペイン	153位	アフガニスタン
2位	スウェーデン	12位	スロベニア	22位	クロアチア	154位	ニジェール
3位	フィンランド	13位	イギリス	・		155位	シエラレオネ
4位	フランス	14位	アイスランド	・		156位	ハイチ
5位	オーストリア	15位	日本	35位	アメリカ	157位	リベリア
6位	ドイツ	16位	ベルギー	・		158位	マダガスカル
7位	チェコ	17位	スイス	38位	オーストラリア	159位	ナイジェリア
8位	ノルウェー	18位	韓国	39位	中国	160位	コンゴ
9位	オランダ	19位	アイルランド	40位	タイ	161位	チャド
10位	エストニア	20位	カナダ	・		162位	中央アフリカ

日本の通知表





JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs
SDGs 市民社会ネットワーク

企業の取り組み

- 大企業を中心にしたイノベーションの動きがますます強まり、中小企業にも波及
- グローバルコンパクトネットワークジャパン
→SDGsコンパス等のツール等の充実
- 日本経団連が企業行動憲章を改定
- 本業の流れと投資家からの流れCSRからの流れなどSDGsへの取り組みが加速化
→多くのSDGsコンサルティング企業が参加
- 大手マスメディアでの取り組みも盛ん

Society 5.0 for SDGs

Keidanren
Policy & Action

Society 5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル
さらには、国連で掲げられたSDGsの達成にも大いに貢献するもの



SDGsに企業が関わる必要性

企業の規模は国家を超えている。
(企業のあり方が社会のあり方に大きく影響)

SDGs時代
既存のあり方を壊し、
ビジネスで何ができるか、
考え・創造する時代へ

社会・経済システムの文明史的変革期
(サステナビリティ革命が必要)

大量生産・大量消費のワンウェイ経済社会から「循環型・持続可能な社会へ

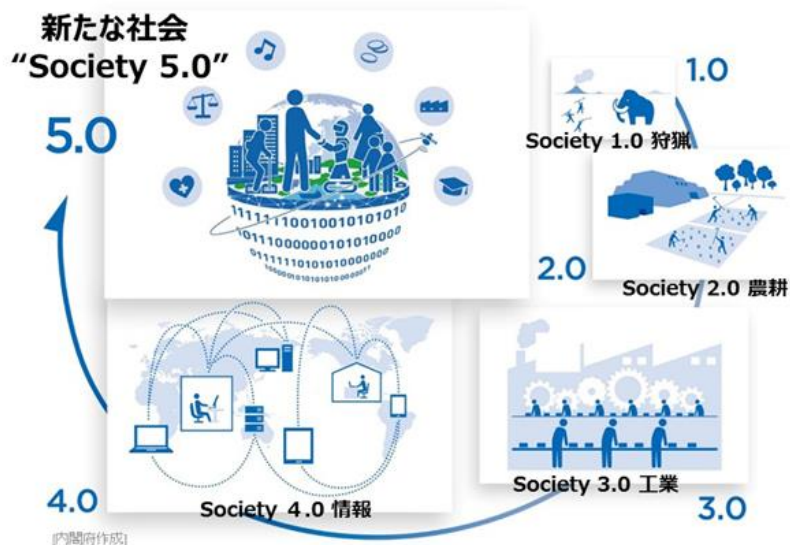
「物質的欲求」から「質的欲求」
「私有」から「共有」へ (シェアリングエコノミー)

企業観の変化

「私的所有物」から「社会の公器」へ E S G投資
→ビジネスと人権 国別行動計画 (NAP) の策定が日本でも

「ソサエティ5.0」と 「科学技術イノベーション」

「ソサエティ5.0」の歴史観(内閣府)



科学技術が人間生活に与える「可能性」が強調される一方、産業・経済・社会・文化・環境が「全的に」変わるが、それについてのイメージは示されていない。

←ここでは、「社会が全的に変わる」イメージ(狩猟採集⇒農耕⇒工業⇒情報⇒新たな社会)

内閣府提供の「ソサエティ5.0」イメージ



大学の取り組み

- SDGsやESD、開発や環境等の国際課題に長年すでにかかわっていた先生個人の動きから、ゼミ単位、学部単位、大学全体へと広がりつつある。

→明治大学等

https://www.meiji.ac.jp/gakucho/SDGs_index.html

- 地域の私立大学が、学生獲得と地域課題解決を目指し、新設プログラムを設置するところが増えてきている

→甲南女子大学

https://miraimedia.asahi.com/kansaiwangan_sdgs_challenge/

→早稲田大学

<https://wasedaneo.jp/waseda/asp-webapp/web/WWebKozaShosaiNyuryoku.do?kozaid=153561>

→明治大学

- ・すでに地域や企業とつながりのあった大学施設が入り口となり、大学に広げる可能性は？
(食堂、ベンチャー支援センター、ボランティアセンター 等)

・・・我々は、貧困を終わらせることに成功する最初の世代になり得る。同様に、地球を救う機会を持つ、最後の世代になるかもしれない。・・・

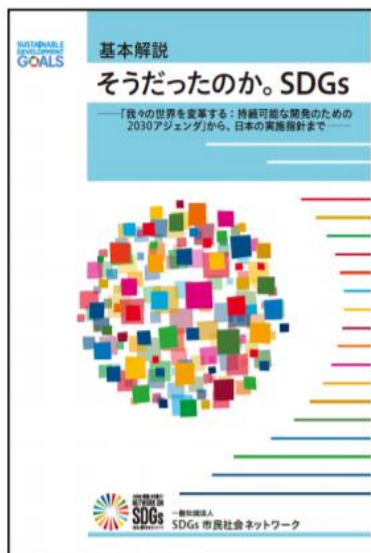
(アジェンダ2030.50節より)



SDGs 市民社会ネットワーク 書籍販売のご案内

詳しく知り
たい方に。

アジェンダ
本文も！



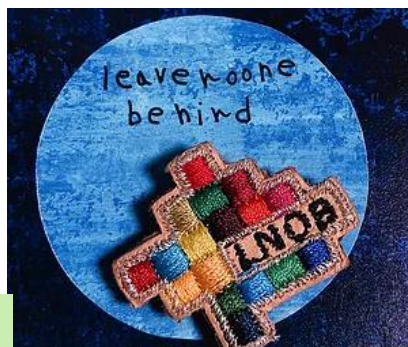
基本解説 そうだったのか。SDGs

—我々の世界を変革する：持続可能な開発のための
2030 アジェンダから、日本の実施指針まで—

¥1,100 (税込)

- サイズ A4／全 110P
- 持続可能な開発目標 (SDGs)
- SDGs を含む「2030 アジェンダ」
- SDGs ゴール解説 (各専門分野)
- SDGs 実施指針 (日本政府)
- ハイレベル政治フォーラム (2016)

WEB から
お申込み
できます！



オリジナルピンバッジ

ご清聴ありがとうございました。
nitta@sdgs-japan.net